

丸協にゆーす

- 事業所紹介「北関東LC」
- 丸協topics「新型コロナ対策の裏側」
- 今、知っておきたい物流topics
「将来の物流は“プラットフォーム”で」

事業所紹介 「北関東LC」

北関東LCの皆さんに質問！

①担当している仕事内容

②営業所自慢

(③好きな〇〇については、
今月の丸協にゆーすページにて
ご紹介しております！)



2020.8 丸協にゆーす

福元所長

柿沼さん

竹内さん



《福元所長》

- ①センター内の業務全般
- ②多くの女性が活躍している（負けるな、男子！！）

《柿沼さん》

- ①飲料関係のオペレーションサポート
- ②責任感が強い

《小泉さん》

- ①事務
- ②活気がある

《竹内さん》

- ①飲料関係のオペレーター
- ②明るく元気な方が多い

小泉さん

勝田さん

春山さん

《勝田さん》

- ①事務
- ②親身になってくれる優しい方がたくさんいます

《春山さん》

- ①伝票管理、配車サポート、点呼
- ②たまに皆で取る土曜の出前（唯一の楽しみ）



新型コロナ対策の裏側

丸協の新型コロナウイルス対策を担当している森本課長代理に、対策導入時や現在の状況などを伺いました。



森本課長代理

はじめに、これまでクラスターの発生が無く業務が行えているのは、**現場の方ひとりひとりのご協力のおかげ**です。ご協力いただき感謝申し上げます。
感染拡大が続いておりますが、引き続き一丸となって感染予防対策に取り組んでいただきます様、宜しくお願い致します。

・コロナ対策について

3月4日に厚生労働省の情報をメインに作成した、新型コロナウイルス対策の通達をいたしました。その後、3密の自粛やマスク着用による熱中症への対策などを踏まえた通達を都度作成・発信し、情報の更新を行っております。
対策内容は現場の状況などを鑑みて可能な部分は政府の指針より厳しく設定しております。（従業員同士の距離など）
また、新型コロナウイルスに関する状況の変化や気候の変化によって、対策の実施と現場の負担軽減の両方を考えて、通達を行っております。

・現在の状況

各部署で毎日従業員全員に体調のチェックと記録を行っております。
手洗い・うがい・消毒・換気の実施状況も各現場でチェックし、記録しております。
そのほか、各部署で休憩時間の分散・利用者の記録等の対策も行っております。

・今後の対応

国内では感染拡大が続いており、感染者が出て安心・安全に働いて頂けるように引き続き取り組んでまいります。

今、知っておきたい物流topics

将来の物流は“プラットフォーム”で

コロナ対応の一環で、ある倉庫では、出荷指示を荷主から1日早くもらうようにしたところ、作業者の残業時間を減らし、ドライバーの待機時間も減らすことができたそうです。このような変化は、コロナ禍を過ぎたところで元に戻る必要はないものと言えます。

人の介在を減らすため、DXが注目されました。DXとは、データを活用して業務や組織を抜本的に変革することを言い、コロナ禍を脱しても積極的に推進すべきものです。

また、注目されているのがプラットフォームです。プラットフォームとは、共同で使う土台のようなものです。データプラットフォーム、物流プラットフォームなどが想定されています。

物流プラットフォームは、姿としては共同物流です。1社の荷主の貨物だけではムダが出る場合にも、複数の荷主を積み合わせれば効率的にできます。過去の共同物流では荷主の都合が最優先でしたが、今後は物流の効率や都合を最優先に考えた運び方を目指すべきと考えられています。これを実行するのが物流プラットフォームです。

物流プラットフォームは業界別に作るのが効果的と考えられます。加工食品のF-LINEなどはその姿に近いといえます。物流事業者がこのプラットフォーム運営者になる可能性も十分考えられるわけです。未来の可能性として、プラットフォームに関心を持ってみて下さい。